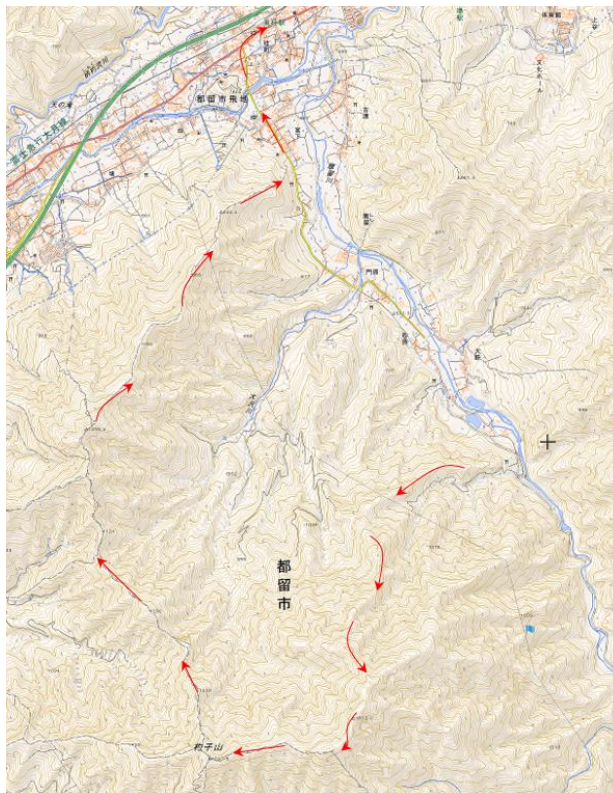


## 道志：鹿留山北尾根-庫見山

- ◆日程 2019年4月6日(土)
- ◆メンバー L：小林(義)、曲、今井、山田(留)、篠原、小林(悦)
- ◆天候 晴れのち曇り

以前より懸案のコースだった。距離も長く陽の延びたこの時期にタクシー利用が適当だろう。全員頑張って予定のルートを歩いた。登りは高い所に登ればよいが下りのルート取りは多少の経験が必要となってくる。この所寒い日が続いており北面の沢筋には少し雪が残る、地表面は融けその下は硬く慎重に足を置かないとスリップとなる。特に杓子山からの下りは急で、滑らせば滑落死亡もありうる場所が続く。6人のメンバーの参加、終わってみれば本当に楽しいルートでした。大月で3人が居残り残業、楽しい会話で充実した山行を締めてくれた。(小林義)

曲の電車トラブルで少し遅れ気味で全員東桂駅からタクシーに乗り、御正体神社に到着すぐさま登りはじめました。登山道の無いルートなので、小林さんが先頭で登り始めました。休憩を兼ね、地形図を確認しながら、先頭交替する、その繰り返して鹿留山、杓子山、庫見山に登頂、各頂上で横浜山の会の会旗を出し満面のほほえみで記念写真を撮りました。富士山の雄大な姿を見れず、少し残念でしたが、地形図で現在地を確認するのは、初体験で良い勉強になりました。(曲)



青天の下、スタートは御正体山神社裏。急斜面をぐいぐい登り尾根に出る。要所 要所で地形図にコンパスを当て、周りの景色と高度計で自分の居場所を確認しながら先に進む。「地図を読む」という事が苦手な私には今回の山行はとても勉強になりました。登りの辛さを忘れてしまう位に楽しめるコースでした。(小林悦)

「始発電車で少しツラかった朝も、車窓から見える桜の木々に癒やされ、ちょっとした旅気分でした。今回も難解なバリエーションルートに参加しましたが、私なりに少しだけコツを掴めた気がします。もう少ししたらクセになるのでしょうか(笑) 杓子山山頂からは、美しく雄大な富士山を臨める山だったので、霞んだ天気が少し残念でしたが、激しいアップダウンを無事に歩ききれてよかったです。(山田留)

運動不足で臨んだ鹿留山北尾根、早々にふくらはぎが悲鳴を上げ、筋肉の硬直は膝上に拡大。ちょっと待ったの「つりそう・・・」。ゆっくり歩いて頂き、感謝です。北アルプス縦走に匹敵する、静かなる尾根歩きでした。「鎖もなく北アの大キレットより怖いかも」(今井)

CT：御正体山神社 8:30 - 鹿留山 11:50/12:22 - 杓子山 13:02/13:15 - 庫見山 16:04/16:23-登山口 17:45-東桂駅 18:12